

● **使用材料・使用器具**

使用材料

キクスイ	15kg/缶
プライマースーパーE	
グラナダF	20kg/缶
専用骨材3厘	20kg/紙袋

使用器具

計量	秤
下塗り	エアレススプレー等
基層塗り	リシンガン又はコテ
模様塗り	スタッコガン
模様付け	コテ

● **標準施工仕様**

(23°C、50%RH)

工程	使用材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗り 回数	工程間隔時間(hr)		備考	
					工程内	工程間		
下塗り	キクスイ プライマー スーパーE	15kg 無希釈	0.1~0.19	1		3以上	エアレススプレー等	
基層塗り	グラナダF	20kg	0.8~1.0	1	-	6以上	リシンガン 口径:4~6mm 吹圧:0.5~0.6MPa コテ	
	清水	吹付け塗り						1~2kg
		コテ塗り						0~0.5kg
模様塗り	グラナダF	20kg	2.0~2.5	1	-		スタッコガン 口径:8~10mm 吹圧:0.5~0.6MPa	
	専用骨材3厘	10kg						
	清水	0.4~0.6kg						
パターン 付け	材料を大玉模様吹き放し後、角ゴテで凸部を横方向にしごく感じでパターン付けする。						追っかけ 模様付け	
養生撤去	養生シートなどの撤去を行う。						直後又は 乾燥後	
最終養生	施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。						24以上	

● **標準施工要領**

1. 下塗り

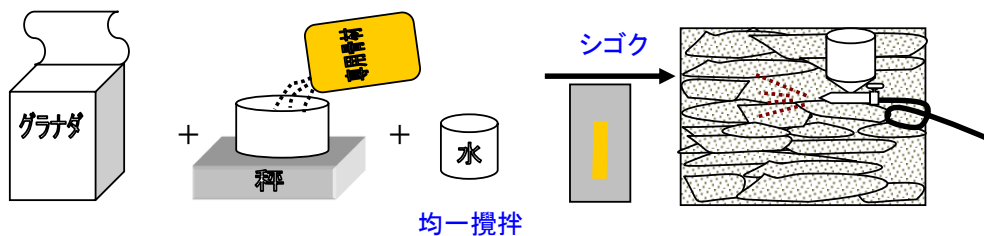
- ① 下塗材は、下地の状況に合わせて、適切な下塗材を選定する。
- ② 下塗りは、下地の吸い込みとそのばらつきを防ぐため、だれ、塗り残しのないように均一に塗り付ける。コーナー部など入隅、出隅は特に入念に塗付する。

2. 基層塗り

- ① 開缶後缶壁に付着した主材を缶内に落とし、一度均一にまぜる。
- ② 主材に、指定量内の清水を加えハンドミキサーなどで均一に混合し、定められた模様になるように粘度を調整する。計量は秤や定量ヒシヤクなどを使用する。
- ③ 基層塗りは、下地がスケないようにリシンガンで吹き付ける。

3. 模様塗り

- ① 主材は定められた仕上りになるように指定された骨材と清水を加え、ハンドミキサーなどで均一に混合する。なお、計量は秤などを使用し、希釈水量はあらかじめ試し塗りして決める。
- ② 模様塗りは仕様にあった施工用具を使用し、指定された所要量を大玉吹き放し調に吹き付ける。
- ③ 希釈、ガンの口径、吹き付け圧などの条件設定で、ベタにならないように吹く。



4. パターン付け

- ① 標準として、角ゴテシゴキのパターン付けは、模様塗り後、追っかけで横方向に行う。
- ② 時々コテを水で清浄にし、引きムラをつくらないように作業する。
- ③ パターンは、壁全体のバランスも考慮してコテで整える。

5. 養生撤去他

- ① 養生の撤去は、施工終了後直ちに行う。すぐにできない場合は、材料が完全に乾燥した後、慎重に行うこととする。
- ② 外部施工で、施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。
- ③ 足場つなぎ部のタッチアップ補修を行う。